

令和2年2月4日

報道機関 各位

「富山大学芸術文化学部 大学院芸術文化学研究科
卒業・修了研究制作展 —GEIBUN 11—」開催

令和2年2月8日（土）より、富山大学芸術文化学部・大学院芸術文化学研究科で学んだ学生による卒業・修了制作展「GEIBUN11」を開催いたします。

芸術文化学部では、美術、工芸、デザイン、建築、キュレーションなど、分野の垣根を越えた融合教育を行い、多様な研究・制作に取り組んでいます。本展示会では、学部卒業生および研究科修了生による作品・論文（研究成果）約120点を一堂に展示し、その成果を示します。詳細は別添のチラシをご参照ください。総合大学の中にある芸術系学部ならではの多角的で自由な発想を持った作品群から、新たな時代の感性を感じていただければ幸いです。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

- [会期] 2020年2月8日（土）～2月24日（月） ※休館日2月10日（月）・2月17日（月）
9:30-17:00（入館は16:30まで）
- [会場] 高岡市美術館（富山県高岡市中川町1丁目1番30号）
- [主催] 富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会
（富山大学芸術文化学部/公益財団法人高岡市民文化振興事業団/高岡市美術館）
- [共催] 高岡市/高岡市教育委員会
- [後援] 富山県/富山県教育委員会/高岡商工会議所
- [協賛] 高岡短期大学/富山大学芸術文化学部同窓会「創己会」

【関連イベント】 ゲストトーク『表現の不自由から考えるアートのこれから』

2019年に開催された国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」を発端に、表現の自由をめぐる社会的議論が巻き起こりました。社会とアートの間に生じた摩擦は、同時に教育の現場にも突きつけられています。今回、同トリエンナーレのキュレーターを務めた鷺田めるろ氏をお招きして、これからの社会とアートの関係について考えます。

- [ゲスト] 鷺田めるろ（キュレーター）
- [日時] 2月9日（日）14:00～16:00（13:30開場）
- [会場] ウイング・ウイング高岡4F 高岡市生涯学習センター・ホール
聴講無料

以上

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学芸術文化学部総務課
〒933-8588 富山県高岡市二上町180
T E L : 0766-25-9139
F A X : 0766-25-9104
E-mail : info@tad.u-toyama.ac.jp

School of Art and Design / Graduate School of Art and Design, University of Toyama

The 11th Graduation Works Exhibition

富山大学 芸術文化学部 大学院芸術文化学研究科

卒業・修了研究制作展

2020年2月8日(土) - 24日(月) 振 高岡市美術館

●開館時間 9:30から17:00 ●入館は16:30まで ●観覧無料 ●休館日 2月10日(月)/2月17日(月)



ものづくりのワクワクは、
いつも、あの頃のマイ。

The 11th Graduation Works Exhibition

富山大学 芸術文化学部 大学院芸術文化学研究科

卒業・修了研究制作展

令和2年2月、富山大学芸術文化学部・大学院芸術文化学研究科で学んだ学生による卒業・修了制作展「GEIBUN11」を開催します。芸術文化学部では、美術、工芸、デザイン、建築、キュレーションなど、分野の垣根を超えた融合教育を行い、多様な研究・制作に取り組んでいます。本展覧会では、学部卒業生および研究科修了生による作品・論文(研究成果)約120点を一堂に展示し、その成果を示します。総合大学の中にある芸術系学部ならではの多角的で自由な発想を持った作品群から、新たな時代の感性を感じていただければ幸いです。

オープニングセレモニー ● セレモニーと内覧会を行います。
[日時] 2月7日(金) 15:00- [会場] 高岡市美術館・地階ビトークホール



www.tad.u-toyama.ac.jp



〒933-0056 富山県高岡市の中川1丁目1番30号
TEL 0766-20-1177 URL http://www.e-tam.info/

●主催/富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会(富山大学芸術文化学部、公益財団法人高岡市民文化振興事業団・高岡市美術館) ●共催/高岡市、高岡市教育委員会 ●後援/富山県、富山県教育委員会、高岡商工会議所 ●協賛/高岡短期大学・富山大学芸術文化学部同窓会「創己会」 ●問合せ/富山大学芸術文化学部総務課
〒933-8588 富山県高岡市二上町180番地 [TEL] 0766-25-9139
[FAX] 0766-25-9104 [E-mail] info@tad.u-toyama.ac.jp



●電車、バスをご利用の方 [新高岡駅より] 富山駅前バス(高岡駅経由)「中川」下車、徒歩2分/[高岡駅より] 徒歩:約20分/[JR水見線:越中中川駅より] 下車、徒歩2分 ●自動車をご利用の方 [能越自動車道] 高岡北ICから約10分/高岡ICから約15分/[北陸自動車道] 小杉ICから約20分/高岡砺波スマートICから約20分 ●駐車場 [地下駐車場] 2時間まで駐車料無料(開場日:美術館開館日、開場時間:午前9時~午後6時)/[屋外駐車場(高岡文化の森駐車場)] 無料

【Special Event ゲストトーク】

表現の不自由から考えるアートのこれから

鷲田めるろ(キュレーター) 2月9日(日) 14:00-16:00 (13:30開場)

●会場:ウイング・ウイング高岡 4F・高岡市生涯学習センター・ホール ●聴講無料
●主催:富山大学芸術文化学部 ●後援:高岡市、高岡市教育委員会

2019年に開催された国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」を発端に、表現の自由をめぐる社会的議論が巻き起こりました。社会とアートの間に生じた摩擦は、同時に教育の現場にも突きつけられています。今回、同トリエンナーレのキュレーターを務めた鷲田めるろ氏をお招きして、これからの社会とアートの関係について考えます。

【公開プレゼンテーション】

大学院芸術文化学研究科の大学院生および各分野の学生達による公開プレゼンテーションを行います。

- ①大学院芸術文化学研究科2年生特別研究最終発表会
[日時] 2月16日(日) 10:00-12:00、13:00-15:30 [会場] 高岡市美術館・地階ビトークホール
- ②デザイン情報系 [日時] 2月11日(木) 13:00-16:00 [会場] 高岡市美術館・企画展示室
- ③デザイン工芸系 [日時] 2月13日(土)、14日(日) 10:00-12:00、13:00-16:30
[会場] 高岡市美術館・地階ビトークホール
- ④建築デザイン系 [日時] 2月20日(日) 13:00-15:00 [会場] 高岡市美術館・企画展示室

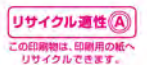


鷲田 めるろ
Washida Meruro
キュレーター

1973年京都府生まれ。東京大学大学院美術史学専攻修士課程修了。2018年3月まで金沢21世紀美術館キュレーター。地域や参加をテーマに現代美術・建築の展覧会・プロジェクトを手がける。金沢21世紀美術館では、アトリエ・ワン、島袋道浩、坂野充学などの個展、「金沢アートプラットフォーム2008」、「3.11以後の建築」などのグループ展を企画。2017年には富山県のギャラリー無量で、「越後正志 抜け穴」を企画。第57回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展日本館キュレーター(2017年)、あいちトリエンナーレ2019のキュレーター。

【院生展】

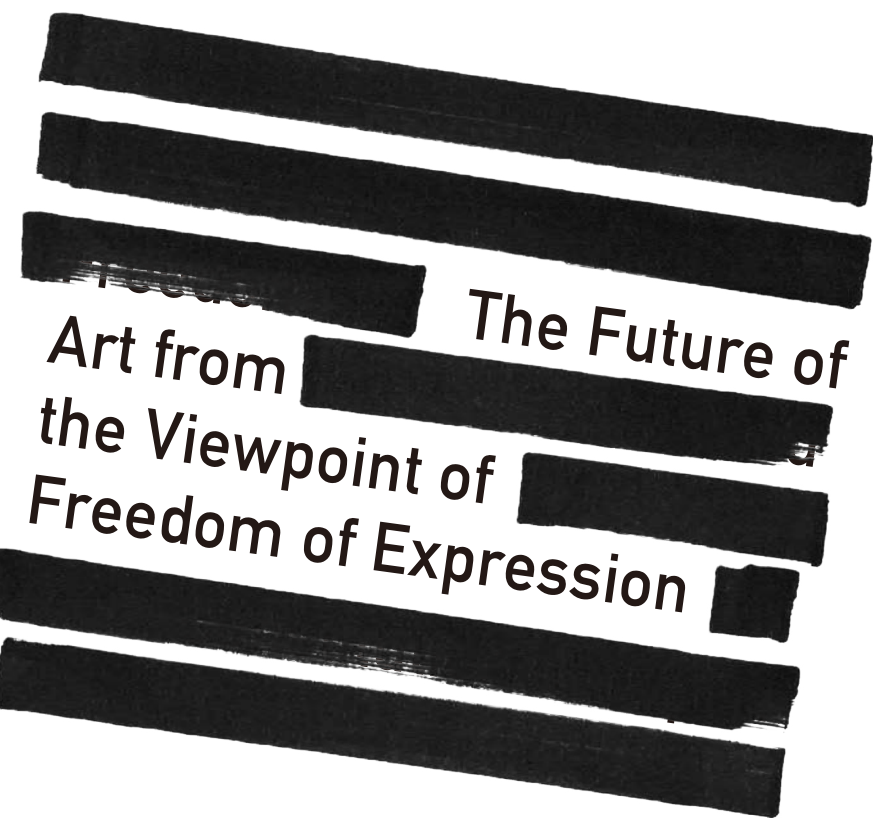
2月15日(土)-24日(日) ●
[日時] 11:00-17:00、休廊日 2月19日(日) ●
[会場] 芸文ギャラリー 高岡市御旅屋町90-1 KMビル1F [TEL] 0766-25-6078
大学院芸術文化学研究科1年生による成果展示を行います。



富山大学 芸術文化学部 大学院芸術文化学研究所 卒業・修了研究制作展 関連イベント

表現の自由

から考えるアートのこれから



講演

キュレーター
鷺田めるる

WASHIDA Meruro / Curator



日時

2020年2月9日【日】

14:00 — 16:00 (13:30 開場)

会場

ウイング・ウイング高岡4F
高岡市生涯学習センター・ホール

WING WING TAKAOKA 4F / HALL
〒933-0023 富山県高岡市末広町1番8号

聴講無料

Admission fee : Free



主催 | 富山大学芸術文化学部 後援 | 高岡市、高岡市教育委員会
お問い合わせ | 富山大学芸術文化学部総務課
〒933-8588 富山県高岡市二上町180番地
TEL : 0766-25-9139 FAX : 0766-25-9104 E-mail : info@tad.u-toyama.ac.jp

表現の~~不~~自由

から考えるアートのこれから

The Future of Art
from the Viewpoint of Freedom of Expression

講演

キュレーター 鷺田めるる

WASHIDA Meruro / Curator

2019年に開催された国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」を発端に、表現の自由をめぐる社会的議論が巻き起こりました。社会とアートの間に生じた摩擦は、同時に教育の現場にも突きつけられています。今回、富山大学芸術文化学部では、同トリエンナーレのキュレーターを務めた鷺田めるる氏をお招きして、これからの社会とアートの関係について考えます。

Evolving in 2019 with the Aichi Triennale, an international art festival, a social debate over freedom of expression took place. The friction that has arisen between society and art is an area to be looked at further, even in educational institutions. This time, we invite Washida Meruro, curator of the Triennale, to reflect on the relationship between society and art.



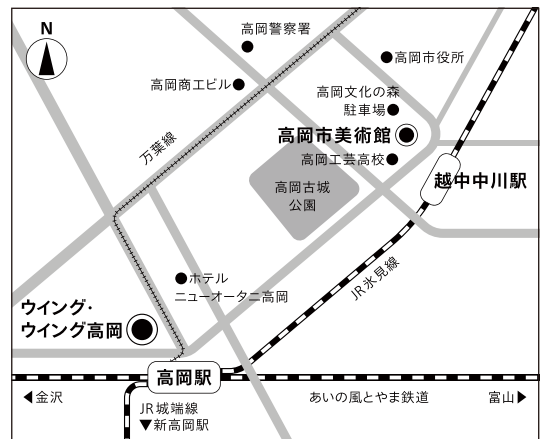
あいちトリエンナーレ2019の一企画「表現の不自由展・その後」でのディスカッション
提供：あいちトリエンナーレ実行委員会事務局

Discussion at "After 'Freedom of Expression?'" a project at the Aichi Triennale 2019
Courtesy of Aichi Triennale Organizing Committee

鷺田めるる | WASHIDA Meruro



1973年京都府生まれ。東京大学大学院美術史学専攻修士課程修了。2018年3月まで金沢21世紀美術館キュレーター。地域や参加をテーマに現代美術・建築の展覧会・プロジェクトを手がける。金沢21世紀美術館では、アトリエ・ワン、島袋道浩、坂野充学などの個展、「金沢アートプラットフォーム2008」、「3.11以後の建築」などのグループ展を企画。2017年には富山県のギャラリー無量で、「越後正志 抜け穴」を企画。第57回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展日本館キュレーター(2017年)、あいちトリエンナーレ2019のキュレーター。金沢美術工芸大学客員教授。



ウイング・ウイング高岡 4F 高岡市生涯学習センター・ホール

WING WING TAKAOKA 4F / HALL
〒933-0023 富山県高岡市未広町1番8号

*JR 高岡駅より徒歩2分
*お車で越越しの方は、高岡市営高岡中央駐車場をご利用ください。

同時開催

富山大学 芸術文化学部 大学院芸術文化学研究科
卒業・修了研究制作展

School of Art and Design / Graduate School of Art and Design, University of Toyama
The 11th Graduation Works Exhibition

日時 | 2020年2月8日(土) - 2月24日(月・振休)
開館時間 | 9:30 - 17:00 (入館は16:30まで) 休館日 | 2月10日(月) / 2月17日(月) 観覧料 | 無料
会場 | 高岡市美術館 〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号 <http://www.e-tam.info/>

主催 | 富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会 (富山大学芸術文化学部、公益財団法人高岡市民文化振興事業団、高岡市美術館)
共催 | 高岡市、高岡市教育委員会 後援 | 富山県、富山県教育委員会、高岡商工会議所 協賛 | 高岡短期大学、富山大学芸術文化学部同窓会「創己会」



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。